



石倉晴美
副院長・看護局長

る2006年度以降で最も多い101人を採用した。4月から副院長・看護局長を務める石倉晴美さんは

医療

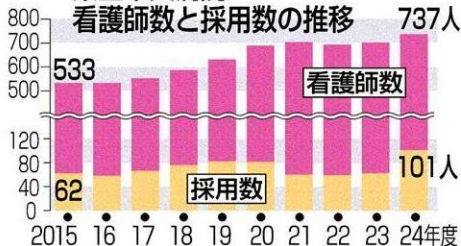
最前線

県立中央病院から

〈292〉

山梨県立中央病院は患者の負担軽減や救急医療の高度化に対応するため、新たな手術室の整備を進めている。整備に伴って看護師の人数がさらに必要になることから、本年度は記録が残

県立中央病院
看護師数と採用数の推移



患者負担減や救急に対応

看護師 最多101人を採用

「一人でも多く質の高い看護師を育てたい。今後も人材確保と定着に力を入れる」と語る。

地域に密着した病院として、患者を「早くきれいに

治す」をスローガンとして入。23年度からは新人看護師が先輩看護師に対して、指導の仕方などを評価する

対策として、今年1月には看護補助者を4段階で評価する指標「クリニカルラダー制」を導入した。業務に向き合う姿勢や態度を評価することで、補助者の意欲につなげることが狙いだ。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行してから1年。コロナ禍で制限していた研修も活発に行うようになった。

相談しやすい職場環境をつくることで離職者の抑制を図る。石倉さんは「患者さんや周囲のスタッフに思いやりの気持ちを持ち、常に笑顔で接することが大切。豊かな感受性を持ち、寄り添うことができる看護職員を養成したい」と話している。

か、看護師としての実務能力を評価する「キャリアアラダー制」を挙げる。「教育システムに魅力を感じ、高度な看護技術を学びたいと思う学生たちに選ばれている」

日頃の悩みを共有することで人材の定着につなげようと、看護師が2人1組で複数の患者に対応する「パートナーシップナーシングシステム」(PNS)を導入しないという。

第2、4火曜日に掲載します